

郵便

明治壬申八月



新聞

第十四號

新貨三錢



東京横山町三丁目

太田金石衛門





門 48
號 407
卷 5

九例

遠近の人民互に性情よく相通ト事理よくお達するは新聞紙の如く
 あり故に西洋諸國苟も文明な名あるは地より其必を新聞紙の如く
 ありて國內國外を論ずる九百の事務を網羅し併せて奇事異聞瑣
 話常談を採用し以て日刊一冊の刻て傳布するは幾人か家
 喻一戸が小説の概あれは國人甚くあれを便とせり今爰に郵便
 此新聞を刊行するも度く遠近の子我我せ大ひよ内お此情を向し
 古今此変を知りて世に裨益あるは我我するあり蓋し龍水の
 氷我見て天下此寒を知るべし小冊子と云ふもの亦當今子情
 一斑を窺ふべし

郵便報知新聞第十四號 明治五年申八月

- 足柄縣 木更津縣 新治縣 朽木縣 茨城縣
- 印旛縣 群馬縣 宇都宮縣
- 其縣へ裁判所被置候旨御達シアリ
- 佐賀縣管轄對馬國一圓御詮議ノ次第有之今般長崎
 縣へ管轄被仰付地所同縣へ引渡可申旨御布令アリ
- 今般日比谷御門ヲ始メ外郭二十一門廢撤ノ儀仰出
 サレタリ
- 滋賀縣ヨリ報知管内へ布告二条

報知新聞 第十四号

世小樽巫と唱ふる者多謂を以て衆人と惑り一甚人
 間の知見と妨げの者多付當者下と立廻り一今ハ悉く
 取れ一其生所一其返一其居以來有格の第一切穂聞者
 亦あらず且又所役人下於てハ右等の象乙高り吹才其
 所く為五届出べし一尚縣支配界又徘徊一し一
 を元入あり一其方の境外一追拂すべし云々
 世ハ神降と唱へ奇怪の所業とあり一或ハ墨色判断あり
 といひて人の吉凶禍福と説く一其後一ハ人民を惑り一其者
 ありあり一其のふり一其以來有格の所業禁止の條迄
 未業と波一其者ハ早々お改他の職業又弛す可申し

且又人民下於てハ有格の者下行穢或ハ吉凶判断を依
 院する者多謂處業お成らず一其後人下於てハ有格の
 者見為身下所一其届出づ一云々
 知令松田氏ハ奉職以來未だ一歳千の月日を経ざれと
 も村世安民と心一民俗野鄙の弊害を除き利を執
 し愚と依一其を啟る者多計一上ハ以て國
 家の隆運を補け下ハ以て蒼生の幸福を増す一其
 例一堪一し一其

○警前知り報知

二部省中鑛山案官久井御雇英人ゴットフレ一七月中

第、磐前郡白水仙石炭山同播磨郡上手岡村鑛山を檢査し畢つて「ゴットフレ」云く此山鑛石を善く且多く鑛中鑛石四分一存す以て日本國中の鑛石の供するに及ばず又白水仙の石炭の品位ハ多國諸山の比第ニ劣る入るべしと云く則後播磨を郎ある者之を誘ひ追々運搬の高議中ありと

○第八号は記載せし淡路縣下戸長金糸久平ある者天竺川堤防修繕費用の内一千元を献金し於年々餘をもちて多少も献金致さる縣廳に預めり官その奇特を愛典りて三ッ俎一具を下賜りたりと

の形も根地は愛字と彫る美しき銘器ありとぞ

○サンフランシスコ新聞抄譯

先達て「ロング」氏の引文あり大使と同行せし吉益上田山實津田永井君五人の少女ハ「アメリカ」の「ワシントン」府の側ある「ジョージタウン」とり小所の女学校に入て修業せし者五人の少女ハ「サンフランシスコ」に立ちて「チカゴ」とり小所に到るまでハ日本の衣服と着たりしが以て西洋風の女の着せしものと見ゆ頃日漸く着あれて着あし振りよく且便利とみかほえしとぞ

○元右田系の医師北城涼育といふ人蚕くすし牛痘の
世に益ちる事を知りて愚民等と論じ二十餘年の月小
元一万余人の小兒を種痘せしめしむるを以て那須野の系
の儲けふ一ツの祠を嘗み牛痘發明の祖ある應涅槃氏
と神と祭り多く幼童の大厄を逃せ一生安穩と保つるの
厚恩と報ト世人ふその基起と辨知せしめんがごとし則
宇都宮縣く祠を築設けの終ひとせしむる

○從五位久松定法教部省中東西部管長へ教導用資ト
シテ金五百圓ヲ献納セシ建言節畧

恭惟ルニ 天祖祭政一致、大旨ハ取テ鑽仰スル所ニ

アラズト虽モ其大論蓋シ教養ノ二者ニ過ザル也二者
相須テ相施シ偏ゼズ悖ラズ然後一致ノ名立テ今竊ニ
全國ノ形勢ヲ視ルニ制度典章器械學術ノ如キハ之ヲ
前日ニ比スレハ稍備ハルニ似タリ而シテ其風俗人情
ニ至テハ或ハ然ラズ則縱令制度學術日ニ新ヲ加フト
虽モ未タ聖化ヲ恢弘スルニ足ラホルトアルニ似タリ
故ニ今一日モ興ラザルベカラザルモノハ教法ナリ其
未タ全備セザルモノモ亦教法ナリ國體ノ汗隆風俗ノ
淳漓實ニ教法ノ立ト立ザルトニアリ伏テ冀クハ速ニ
天祖ノ大教ヲ興サレ全國ノ情向ヲ一統シ各人ヲシテ

天賦ノ方徳ヲ養ヒ人生ノ通義ヲ尽サシメニ一ヲ乃万
國ニ並馳スル所以ノモノ確乎相立テ祭政ノ名亦隨テ
起ラン是豈ニ特ニ今日ノ急務ノミナランヤ実ニ万世
經綸ノ大体ナリ定法昏愚ヲ以テ忝ク華族ニ列シ無涯
ノ天恩ヲ奉載シ曾テ滄埃ヲ報ズル能ハズ加之多年病
瘵ニアリ徒ニ尸素ノ罪ヲ負ヒ日々愧悚スル亦久シ而
シテ竊ニ教法ノ未ダ全備セザルヲ憂フ仍テ今若干ノ
金ヲ納メ以テ區々ノ微志ヲ表ス実ニ九牛ノ一毛ニ過
ズト虽モ之ヲ以テ聊カ東西兩部教導御資用ノ万一二
充サセ給ハツ何賜力之ニ如カニ頓首謹言

○對馬島ハ絶海ノ一孤島ニテ取締行届兼候間鎮西鎮
臺兵ノ内歩兵二小隊分派出張致サセ候段陸軍省ヨリ
伺ヒ相成候處八月八日伺ノ通被仰出タリ

○水俣知事ノ報告

等下陸中國磐井郡長坂村農林海業八郎徳又同幸八外
老男二十四人同郡松川村農十益九十九母まゝくお老女
二十七人都合五十三名各齡業八十八才ありあのよ
縣廳より申出さるゝ官より従書をと下し賜りしとを
長生ハ辺國より多く出ると見るよ山野と陸海一
體の運動養生の途に適するより水俣此の如き地名

の老者と挙たるハ由縁ある事あり

○埼玉縣より報告

管下陸羽街道瀬井村にて七月十二日曉四時頃横濱
人館英六十一番馬車別当安丸島を捕縛しし事此
所特多せし事今重六百二十三両一回館の英人「ステ
」にある者盗取ししと業文「由以向」よりて白状し
るも付直しく司法省裁判所へ送らるるは盗金ハ横濱
本町六丁目小野善次郎方よりて重八千両先以紛失し
るありし依之右「ステ」に連累の女一人とを捕尚か
人二人と捕ふべき事續々及ぶとす

○三潯縣より近日傳來せし官吏井上某の一話

全國一般戸籍改正して管内悉く再調査あり
いづくより云ひ出たるもや方今専ら全国と
柄柄あれを任居る出生年限を再調査ハ全く未の年
生の如わて未だ婚せざるものを調査し外國人へ
さるゝ為ありとの浮説を唱へるゝりさわげける程
よ管内の騷動大方ありす依て町村の役人種々説得を
加へけるゝ於疑惑を掃く勸誘も及ぶべき形勢あるよ
まゝ何者の云出らん外必してハ能令女もても齒
を深するものハ良人何れも思ひ得る連行するも取

沙汰しけねば娘を捕らるるの定むる親族集り僅に
十二三才の少女を誘て誘留をつけさせうらさわ
ぎける程に御座り官久出候してさぬぐ説諭をか
けるゆゑ漸く結清しけりありあつた僻邑の愚民あ
ればとてつらう取越さるるあつてもあり

あねよ似る話あり昨未秋アメリカ人より外國
てハリントルペストといふ傳染病流行あれを豫防の用
意あるごとくあられりしり海内一般に布令あり
て或は鄙のあつたは公是國より日本の人種をた
ちきさんとしてうくの如き大患病を涉ししりと警怖

よ及びりまゝ或あつてハ家々の軒々番付を記する
よつきまればハ必ず他ふ一人を移す時の便利あるべ
しと云ひ出づ者ありし又何月何日ハ派そのるの
数するあど妖言あつて昏迷ししとぞ

○旧幕府の産船と唱へるを丸岡丸、國一丸を福井丸
と改稱し高田川の中流に繋ぎ附属の各船を整飾し八
月廿八日より清人の往觀せしむ這ハ坂本町住居荒木
幸次郎あるもの数願ありし以て産船とあせり

○滋賀縣より報知
近江の湖の中ある竹生島并多景嶋ハ造古より神佛垂

跡の靈場と稱し穀生禁断の地あるゆへ警務の取締
 とあり群りすみけりかくて其糞穀尺く積りしごと
 等下八幡町村甚多傍本下村山本谷三郎等同志の者
 とわくしひかれを作物の肥し用ひあは近來輸入する
 無雨島の雀糞も劣るすどて大坂の開成所へ送り
 分拆して試しけるよアンモニアの糞消費しそ切あけ
 きだ一層精製の工夫をあし尚實際は試みし果して
 其功大ひあるよし當時盛んと賣捌りるとあはれ一
 の國産を場し世の益をあす事必懸りしごと
 報知新聞第十四號終

今般郵便報知新聞刊行の旨趣は遠く隔る國に物産を互にお通せしめ且府下
 小生ずる細大なる實地へ相知りしめいど依るを 除き奇談は否及申善りの賞券を
 暴徒に捕縛機械産物の孔若股絲織物漆器陶器米穀菓茶其他の諸品製造
 耕作の多寡適宜凶害雷雨水火の災難を暖氣候に連ひすて少く多かり多かり
 皆夫々に著記して聊支程虚飾を加へそ時々掲載て是を讀み發見人及び賣
 入好小送り紙一給はん事候希ふ

一郵便報知新聞一冊價新貨三錢毎月五号宛送板
 當時發見号ヨリ先半廿册分引發見向を一割引

同四十册分ハ一割半引
 一々年分引清の内ハ二割引

右之通割分は金井郵便局に候上毎号發見順序と違ひ郵便ラハては届可申候

東京横山町三丁目

發見人 太田金右衛門

